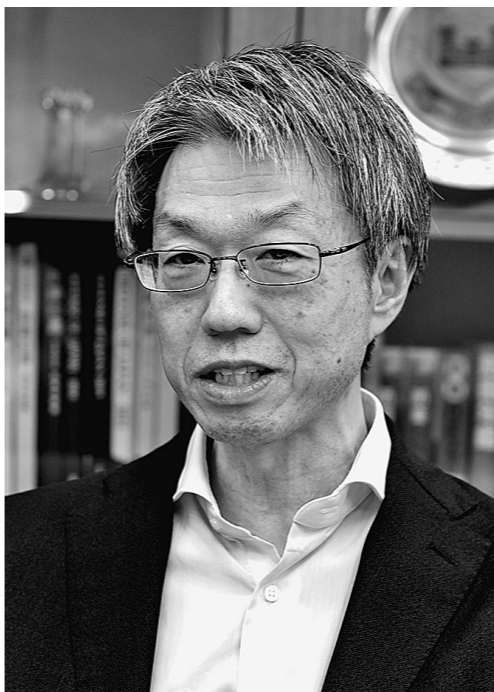


防衛施設整備特集2023

自衛隊施設を強靱化

政府は、昨年12月に閣議決定した安全保障関連3文書(国家安全保障戦略、国防衛戦略、防衛力整備計画)で2023年度から5年間の防衛力整備に43兆円程度の経費を充てることを決定した。自衛隊の継続能力を確保する上で基盤となる施設の整備には4兆円程度を投入。戦後最も厳しい安全保障環境に直面する中で、有事や大規模災害を想定した施設の強靱化に取り組んでいく。施設整備を担当する防衛省の扇谷治大臣官房施設監、井上主勇大臣官房審議官へのインタビューや現在進行中の主要事業を紹介しながら、今後の防衛施設整備を展望する。

「わが国は現在、戦後最も複雑で厳しい安全保障環境に直面しています。自衛隊が粘り強く戦うことができる継続能力は必ずしも十分ではありません。そのための基盤となる自衛隊施設の強靱化が必要不可欠です。昨年12月に閣議決定した安全保障関連3文書では、武力攻撃などに対する自衛隊施設の抗たん性、大規模災害時にも機能を低下させない対策の推進、既存施設の老朽化対策や防護性能の付与といった取り組みについて、民間の知見を生かしながら5年間で集中的に実施することを明記しました。防衛力整備計画の初年度となる2023年度は、自衛隊施設の整備費として約5049億円を計上しました」



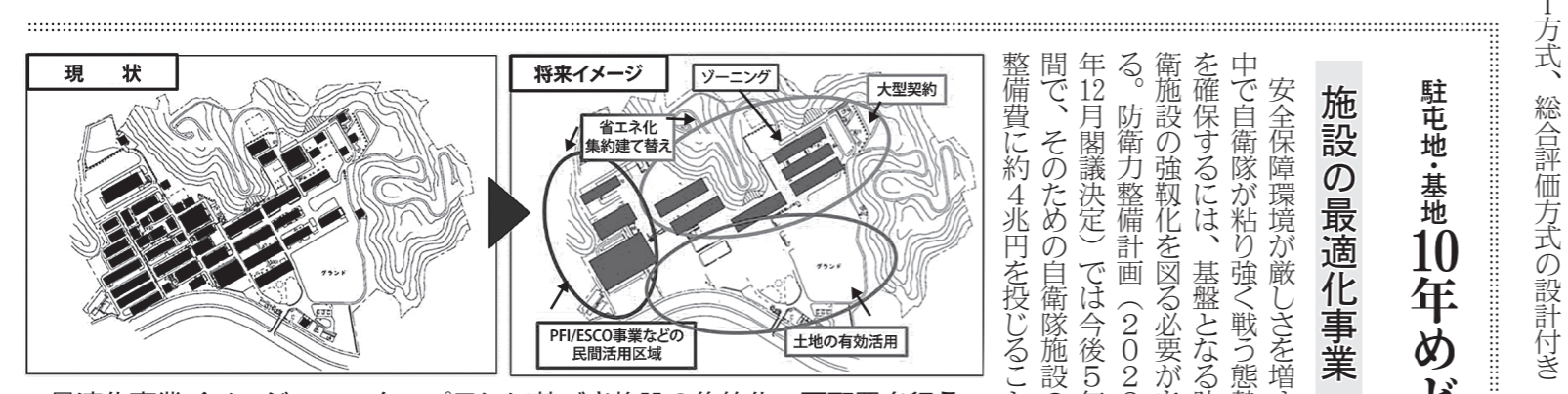
(おうぎや・おさむ) 室蘭工業大学大学院工学修士、1990年防衛施設庁(現防衛省)入庁。整備計画局施設技術管理官、官房参事官、地方協力局防衛対策課長、北関東防衛局長を経て今年7月に現職。北海道出身、58歳。

「全国的に駐屯地・基地には隊舎や庁舎などの建物が約2万3000棟ありますが、その約4割の約9900棟が1981年以前の旧耐震基準で建てられています。老朽化した施設の建て替えや改修を集中的かつ効率的に進めるために、既存施設の現状を調査、評価して集約化や再配置も視野に入れた最適化事業に取り組みます。23年度から3年がかりでそのためのマスタープランを作成する予定で、マスタープランが作成できた駐屯地・基地から24年度以降、順次工事に入ります。施設更新時に爆発物などに対する防護性能は施設の機能・重要度に応じて付与します。太陽光発電や施設省エネルギー化など環境に配慮した施設整備も進めます」

Interview 防衛省大臣官房施設監 扇谷 治氏

5年間で4兆円投入 建設業界の経験・ノウハウ期待

「防衛力の抜本的な強化に向けた取り組みは、力による現状変更やその試みを許さず、わが国への侵攻を抑止することが大きな目的です。自衛隊施設周辺の地域コミュニティのみならず、国全体の安全につながるものもです。加えて既存施設の更新に合わせた隊舎、庁舎の近代化や生活環境の改善も必要と考えています。増加が見込まれる女性隊員用の隊舎や区画の整備、ユニバーサルトイレの設置、シャワー室脱衣所の個室も整備していきます」



「施設整備を進める上での技術的配慮事項は、「防護性能の付与では例えば、爆弾テロ等に対応した施設の離隔距離の確保、地下化の整備、窓ガラスの飛散防止に加え、生物化学兵器に対応した空気ろ過フィルターや高気密ダンパーの設置などが考えられます。今後進める弾薬の取得に連動して必要となる火薬庫は、自衛隊の限られた敷地において安全面を確保することを前提として計画的に整備します。自衛隊には平素から防衛警備、教育訓練、工事発注タイプを検討してきたさまざまな注方式の活用を検討していきま

「既存施設を更新する最適化事業は、多種多様な施設が混在する中で行う大規模事業です。円滑な施工体制を確保するために発注ロットを工夫するほか、佐賀駐屯地(仮称)の新設で取り入れた施工予定者が設計に技術協力するECI方式、総合評価方式の設計付き

「施設整備を担う設計者、建設コンサルタント、建設会社への期待をお聞かせ下さい。「自衛隊施設の強靱化は防衛力整備計画に基づき5年間で4兆円を投入する防衛省としても経験のない取り組みです。多種多様な施設を速やかに整備する上で、建設業界の皆さまとの協力の構築が不可欠です。駐屯地・基地がある地域の地元業者の協力も必要不可欠であるため競争性を確保した適切な発注規模の設定にも慎重に対応していきま

Advertisement for various construction companies including Kumagai Gumi, Ando Hazama, Maeda, Fujita, Iwata, Haseko, and others, listing their names and representatives.



防衛施設整備特集2023

南西方面防衛へ施設整備

老朽病院は計画的に建て替え

2023年度に行う主要事業を「紹介下さい」。「面的な防衛施設の整備については、施設監からお話しさせていただきます。23年度予算に計上した主要プロジェクトは、安全保障の観点から今このときに実施すべき防衛施設の整備を行うものです。このうち、自衛隊の部隊新編について紹介すると、まずは南西諸島の防衛力整備が...

平時、有事における隊員とその家族の医療にあたり、医療技術の維持・向上の役割も担っています。中央病院は09年、札幌病院(札幌市)は15年にそれぞれ建て替え開院しました。その他の病院も老朽化が進んでおり、計画的に建て替えていきます。23年度予算には、那覇病院(那覇市)の建て替えに併せて一般患者の受け入れや診療科の増設など能力向上を図る基本検討のほか、福岡病院(福岡県春日市)、横須賀病院(神奈川県横浜市中区)の建て替えに向けた経費を計上しました。防衛医大病院(埼玉県所沢市)も老朽化しており、PFI手法の導入の可能性を検討しています。...



(いのうえ・かずみ)北海道大学大学院工学研究科修了、1993年防衛施設庁(現防衛省)入庁。沖縄防衛局調達部長、大臣官房参事官、整備計画局施設整備官を経て今年7月に現職。北海道出身、56歳。

Interview 防衛省大臣官房審議官 井上 主勇氏

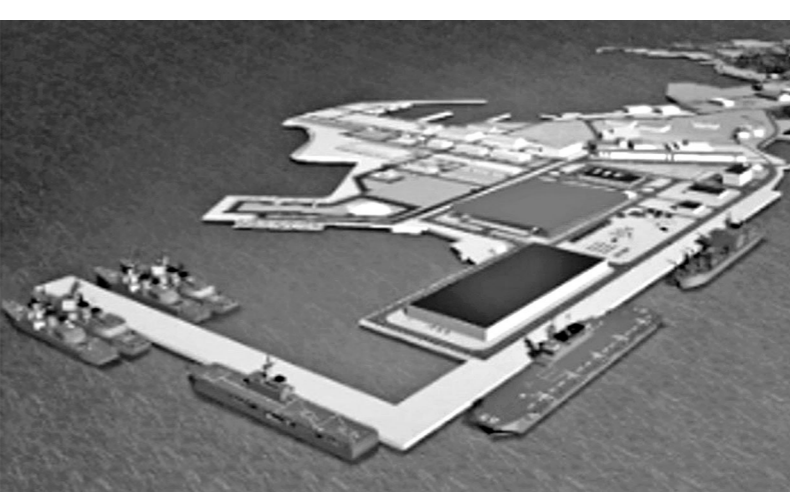
事業推進で建設業界と実効性ある協力体制構築



受変電設備の高所化(津波対策)

各種プロジェクトを進める上で不調・不潔対策や整備が進行中です。「本年1月から、馬毛島において、陸海空自衛隊の訓練や補給活動が、現在硫黄島で行っている米軍のFCLP(空母艦載機離着陸訓練)が実施できる施設を整備して...

先行して完成させ、早期に運用開始することを目指しています。離島の馬毛島には工事に必要なインフラがなく、生コンプラントや資材搬入用の栈橋、作業員の宿舎などを含めた居住環境を整備する環境にも配慮しながら進めています。今後、庁舎や隊舎など建築本体内を本格的に始めていくこととしています。...



崎辺東地区(仮称)イメージ



F35(A・B)受け入れ施設イメージ

Table with 2 columns: Project Name and Budget. Includes categories like 'Facility Strengthening' and 'Self-Defense Force Hospital Replacement'.

「馬毛島での事業は防衛省にとっても非常にチャレンジングな事業であり、関係自治体や住民の皆さまのご理解とご協力に加え、これまでの工事契約を行った約9件の企業や注者や全ての技術者・技能者の皆さん、関連工事を発注する国土交通省など関係者がワンチームとなって同じゴールに向かって事業を進めていく所存です」

地元建設業者対策をお聞かせ下さい。「防衛力整備計画に基づき今後5年間で4兆円を投じることとなりますが、単純平均で年間8000億円です。米軍関係施設を含めて1兆数千億円の規模になります。膨大な事業を一定期間で実施するために国内内外の建設需要を適切に把握し、受発注者双方の負担を減らしていくことが重要だと考えています。防衛省は昨年12月からゼネコンや建設コンサルタンツなど業界各社と5回にわたる意見交換を...

重ねてきました。実効性のある協力体制の構築が必要だといい意見もいただいています。継続的に業界団体と防衛省が意見を交わすようなスキームづくりに取り組みたいと思っています。「事業規模が大きくなると、発注事務量を軽減するために発注ロットを大型化する傾向になります。地元業者の皆さんの受注機会が少なくなるという懸念もあるかもしれません。地元業者の方々を整備に携わった施設を利用する自衛隊が郷土の部隊として国防を支えているという気持ちで事業に参画してもらうことも大切です。公共事業としての経済効果を意識しながら、民間の知恵を生かした『令和の大築城』というべき事業を進めたいと考えています」。

Advertisement for various construction companies including AsunaroAoxi, 青木あすなる建設, りんかい日産建設, 株木建設株式会社, 若築建設株式会社, 株式会社 不動テトラ, 株式会社 竹中土木, 東洋建設株式会社, 東亜建設工業, 大豊建設株式会社, 銭高組.

Advertisement for various construction companies including 協和建設工業株式会社, 中林建設株式会社, コーナン建設株式会社, 日起建設株式会社, 真柄建設株式会社, 昭和建設株式会社, オリエンタル白石株式会社, 株式会社 ナカノフドー建設, 村本建設株式会社, 大日本土木株式会社, あおみ建設株式会社.



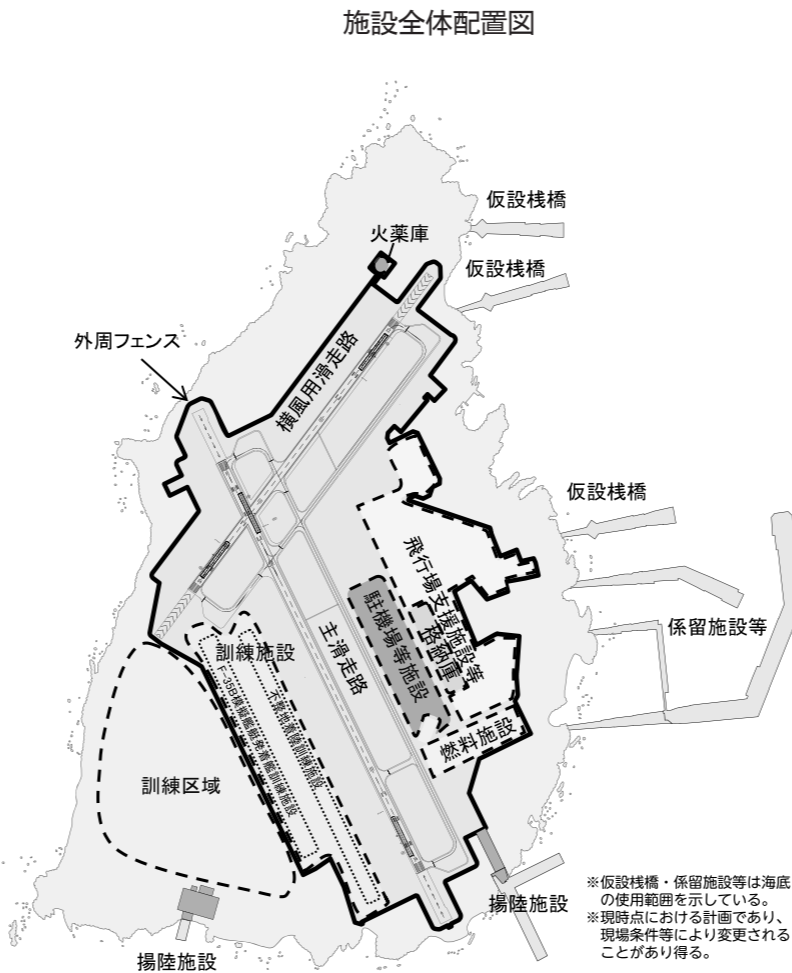
防衛施設整備特集2023

4年程度 離島の特殊条件に対応

馬毛島基地(仮称)建設事業(鹿児島県西之表市)は、陸海空自衛隊の訓練・活動や整備補給などの後方支援活動のほか、米空母艦載機の着陸訓練(FCLP)を実施することが出来る施設を整備する。防衛省では、同事業の予算として2023年度に契約ベースで約3030億円を計上した。

馬毛島基地(仮称)建設事業(鹿児島県西之表市)は、陸海空自衛隊の訓練・活動や整備補給などの後方支援活動のほか、米空母艦載機の着陸訓練(FCLP)を実施することが出来る施設を整備する。防衛省では、同事業の予算として2023年度に契約ベースで約3030億円を計上した。同省は今回の建設事業に関する環境影響評価書を1月に告示し、馬毛島の陸上の工事を開始。3月には周辺の海上での工事も始めた。全体でおおむね4年程度

進行中の主要プロジェクト



馬毛島基地建設事業

の工期を見込む工事では、馬毛島基地(仮称)建設事業(鹿児島県西之表市)は、陸海空自衛隊の訓練・活動や整備補給などの後方支援活動のほか、米空母艦載機の着陸訓練(FCLP)を実施することが出来る施設を整備する。防衛省では、同事業の予算として2023年度に契約ベースで約3030億円を計上した。

V22オスプレイの佐賀空港配備

固定翼機と回転翼機の両方の特徴を併せ持つV22オスプレイを佐賀空港(佐賀市)西側に配備するため、佐賀駐屯地(仮称)の整備を計画している。約11万平方メートルの駐機場、佐賀空港の滑走路に接続する2本の誘導路、格納庫3棟、8階建ての隊庁舎、倉庫、体育館、火薬庫などの施設整備を計画している。



オスプレイ(V22)

駐機場など先行整備

同駐屯地を整備することで、馬毛島への侵襲を受けやすい滑走路に隣接する2本の誘導路、格納庫3棟、8階建ての隊庁舎、倉庫、体育館、火薬庫などの施設整備を計画している。約11万平方メートルの駐機場、佐賀空港の滑走路に接続する2本の誘導路、格納庫3棟、8階建ての隊庁舎、倉庫、体育館、火薬庫などの施設整備を計画している。

沖縄での米軍再編事業



キャンプ瑞慶覧の米軍家族住宅

沖縄の米軍再編事業は「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」(沖縄統合計画)に基づき行われている。嘉手納基地(嘉手納町、沖縄市、北谷町)以南の土地の返還に向けて防衛省は2023年度、施設移設先での調査、設計工事などに要する費用として契約ベースで約607億円を計上している。キャンプ桑江(北谷町)などの返還条件であるキャンプ瑞慶覧(北谷町、北中城村、宜野湾市、沖縄市)の約910戸の住宅統合に向けた家族住宅の新設工事は、22年度に186戸分が発注され、23年度は38戸分と入間管理施設などの整備を計画している。家族住宅はプレキャスト(PCa)工法を採用することで現場作業を削減し、建設作業員の不足に対応しながら、品質の向上と工期短縮につなげている。牧港補給地区(浦添市)などの返還条件となる施設のうち、キャンプハンセン(釜武町、宜野座村、恩納村、名護市)では、各軍合同の廃車庫を保管するRC造平屋約390平方メートルの新設するほか、訓練に使用した薬きょうの洗浄や修復などについてRC造平屋約70平方メートルの新設を計画している。

家族住宅 PCa で工期短縮



佐賀駐屯地(仮称) 駐機場イメージ

ECI方式で制約条件克服

行かないといった時期の制限が、工事場所が有明粘土と上。オスプレイの移駐に最適な粘性土が厚く堆積した国内の有数の軟弱地盤を形成する先行させ、25年6月末の完成に向けた工事を進めていく。残る工事も24年度以降短期間に施設整備を行う必要が。各種制約にも対応できる高い技術力が求められる中で防衛省は、技術提案・交渉方式の技術協力・施工型の「ECI方式」を同省発注工事において初めて採用した。23年度予算では同駐屯地は生コンクリートの打設を要がある。

株式会社 大米建設
社代表取締役 吉国 修
電話098(975)9101

株式会社 鹿島道路株式会社
社代表取締役 吉田 英信
電話03(580)0218

大成ロテック株式会社
社代表取締役 西田 義則
電話03(595)5259

株式会社 NIPPPO
社代表取締役 吉川 芳和
電話03(356)6371

日特建設株式会社
社代表取締役 和田 康夫
電話03(564)5505

伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社
社代表取締役 田中 康博
電話03(626)8221

株式会社 イトー技建
社代表取締役 山田 雅昭
電話092(48)3110

金剛産業株式会社
社代表取締役 佐土原 剛
電話03(353)3418

大和探査技術株式会社
社代表取締役 長谷川 俊彦
電話03(563)8080

株式会社 ビー・ビー・エム
社代表取締役 合田 裕一
電話03(357)9861

三井金属エンジニアリング株式会社
社代表取締役 川野 彰司
電話03(562)7850

村上工業株式会社
社代表取締役 村上 隆秀
電話04(573)1395



防衛施設整備特集2023

下期発注の主な工事

防衛省は、各地方防衛局や防衛支局が発注する工事や業務の毎年度の発注見通しをホームページで公表している。発注見通しには「件名」「場所」「期間」「工種」「概要」「入札方式」「公告予定」「確認申請書受付期限」「開札予定」「工事規模(金額)」などを提示。個別公告前に各企業が受注を目指す案件を見定められるようにしている。

各防衛局2023年度下期(10月以降)公告主要工事 (発注見通しから工事規模3億円以上の案件を抽出)

Table listing construction projects for various defense agencies (北海道防衛局, 東北防衛局, 北関東防衛局, 南関東防衛局, 近畿中部防衛局) with columns for project name, location, period, announcement date, and scale.

日刊建設工業新聞は、公表済みの本年度発注見通しから10月以降に公告する案件のうち、金額規模3億円以上の工事を抽出し一覧にまとめた。内訳は北海道防衛局6件、東北防衛局9件、北関東防衛局8件、南関東防衛局16件、近畿中部防衛局18件、九州防衛局20件、熊本防衛支局11件、沖縄防衛局18件。

工事規模30億円以上の大型案件は、10月下旬公告の「硫黄島(5)滑走路改修等土木その他工事」、11月公告の「横須賀(5)病院新設等建築その他工事」、10月下旬公告の「馬毛島(R5)消防車庫等新設建築工事」の発注が予定されている。

Table listing specific construction projects with columns for project name, location, period, announcement date, and scale. Includes sub-sections for Chubu and Kyushu defense agencies.

Advertisement grid for construction firms including NIHO SEKKEI, MHS 松田平田設計, 安井建築設計事務所, KUME SEKKEI, 久米設計, AXS 株式会社 佐藤総合計画, 株式会社 大建設, NIKKEN 日建設, MAN-TEC 株式会社, 株式会社 雙設備研究所, AZUSA SEKKEI 株式会社 梓設計, ISHIMOTO 石本建築事務所, 株式会社 長大, ID&E ID&Eホールディングス株式会社, 有限会社 みやび建築工房, ダイダン, オリエンタルコンサルタンツ, 株式会社 オオバ, Kisojiban, 大成建設グループ 大成設備株式会社, SANKEN 三建設備工業, 朝日工業社.